



AppsWF ユーザガイド Salesforce 版

Ver.1.1

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/10/08	新規発行
1.1	2020/12/29	取戻しについての内容修正

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本書は株式会社オプロが提供する「AppsWF」のユーザガイド（Salesforce 版）です。

本書をご利用いただくことで、AppsWF の基本機能を理解し、ワークフローで申請や承認／否認、差戻しなどを操作できることを目的としています。

本書はセットアップとワークフロー設定の完了が前提です。

セットアップについては、「AppsWF セットアップガイド（Salesforce 版）」を参照してください。

ワークフローの設定については、「AppsWF ワークフロー設定ガイド」を参照してください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作するうえで知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。
{ }	条件によって異なる名称や文字列が入る可変値の表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
1.1 概要	5
1.2 制限事項.....	6
2. AppsWF の基本操作	7
2.1 申請手順.....	8
2.1.1 「フロー参照」画面.....	11
2.1.2 「履歴参照」画面	11
2.2 承認手順.....	12
2.3 否認手順.....	15
2.4 差戻し手順.....	18
2.5 取戻し手順.....	21
2.6 取止め手順	24
2.7 再申請手順.....	27
2.8 確認手順.....	29
3. 代理者の設定	32
3.1 代理者への権限の委譲	33
3.2 代理者による申請と承認.....	35
4. 補足	36
4.1 監査証跡ログの表示	36

1. はじめに

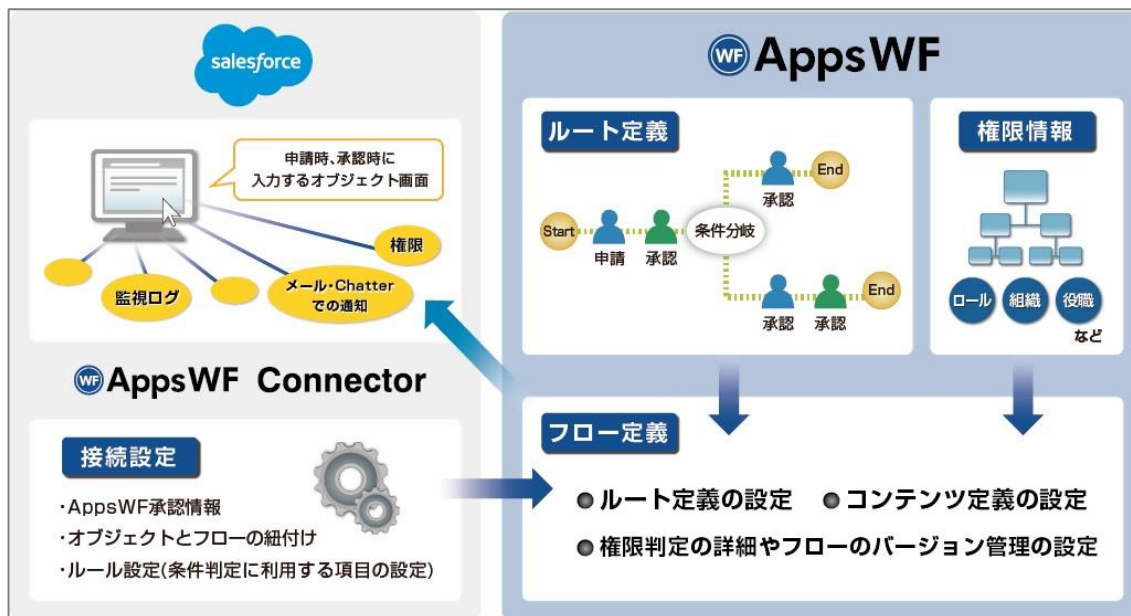
ここでは AppsWF (Salesforce 版) の概要や操作上の制限事項について説明します。

AppsWF は、Salesforce と連携した高機能ワークフローソリューションです。
Salesforce の手軽さを活かしつつ、本格的なワークフローの構築が実現できます。

1.1 概要

AppsWF の製品概要について説明します。

- Salesforce の画面上からシームレスにワークフローの設定を行い、利用できます。
- ルートの定義、権限の設定などの基本的な設定から、代理申請・並列フロー・動的承認など、高度な要求にも対応できます。
- アイコンによる視覚的なフロー確認画面となっており、業務フローを可視化できます。



1.2 制限事項

■ Salesforce のエディション

「Professional Edition」以上である必要があります。

(Professional、Enterprise、Unlimited、Force.com、DE、Performance のいずれかのエディションが必要です。)

■ 推奨ブラウザは、次のとおりです。

OS	ブラウザ
Windows	Internet Explorer 11 Microsoft Edge 最新版 Mozilla Firefox 最新版 Google Chrome 最新版
macOS	Safari 最新版 Mozilla Firefox 最新版
iPhone / iPad	Safari (最新の iOS 11、12)
Android	Android Chrome 最新版

※クライアント OS 上で動作する Web ブラウザのみを動作保証します。

※Internet Explorer に搭載されている「互換表示」機能、もしくはエンタープライズモード (IE11) を使用しての表示は動作保証外です。

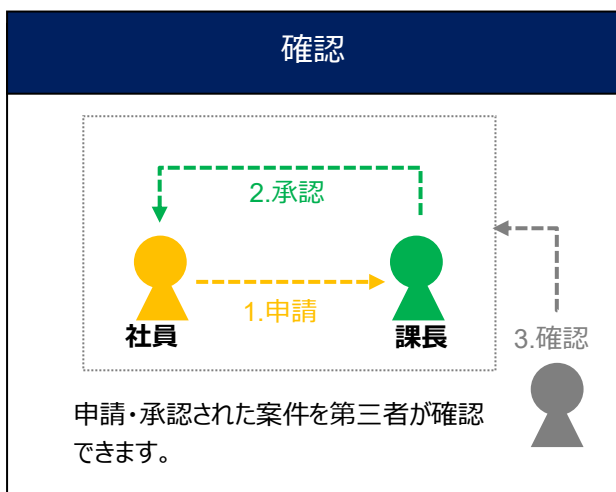
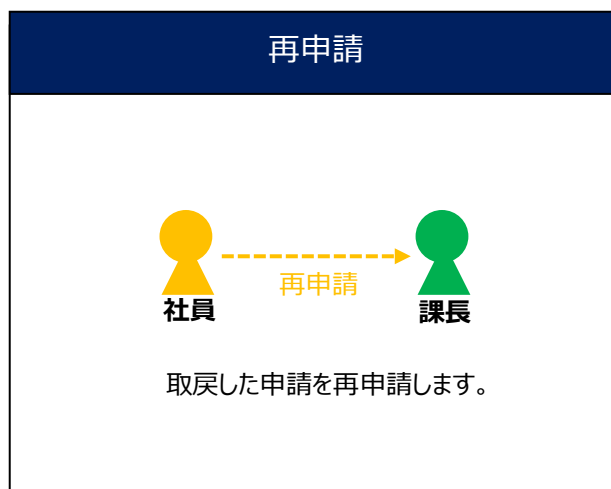
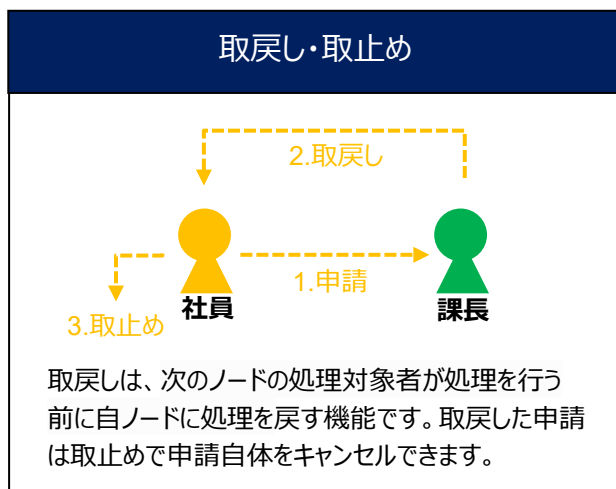
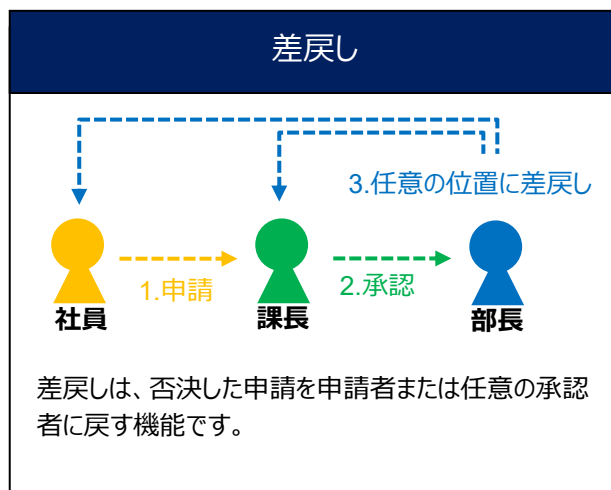
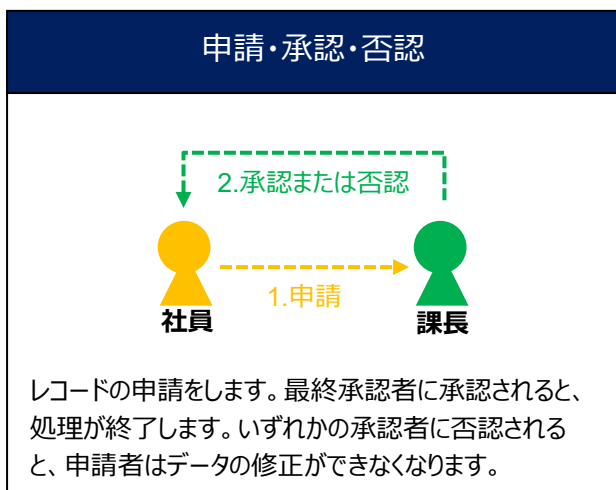
互換表示の解除方法は Salesforce ヘルプの「[Internet Explorer の互換モードを無効にする](#)」をご確認ください。

※Firefox の ESR 版はサポート対象外です。

2. AppsWF の基本操作

AppsWF の基本操作（申請手順、承認／否認手順、差戻し／取戻し／取止め手順、再申請手順、確認手順）について説明します。

2章で説明する基本操作のイメージは次のとおりです。




2.1 申請手順

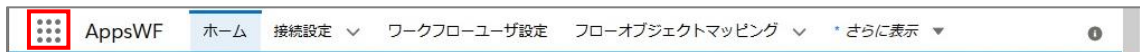
レコードの申請をします。

Point

以下の手順に記載されている{オブジェクト}は、AppsWF が動作するだけの設定がなされているオブジェクトであることを前提としています。

[参照] オブジェクト等のセットアップ方法については、「AppsWF セットアップガイド (Salesforce 版)」を参照してください。

1. ワークフローに割り当てられた関係者（申請対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。画面左上の  をクリックします。



3. アプリケーションランチャーが表示されます。



4. [{オブジェクト}]（ここでは例として [商談]）をクリックします。



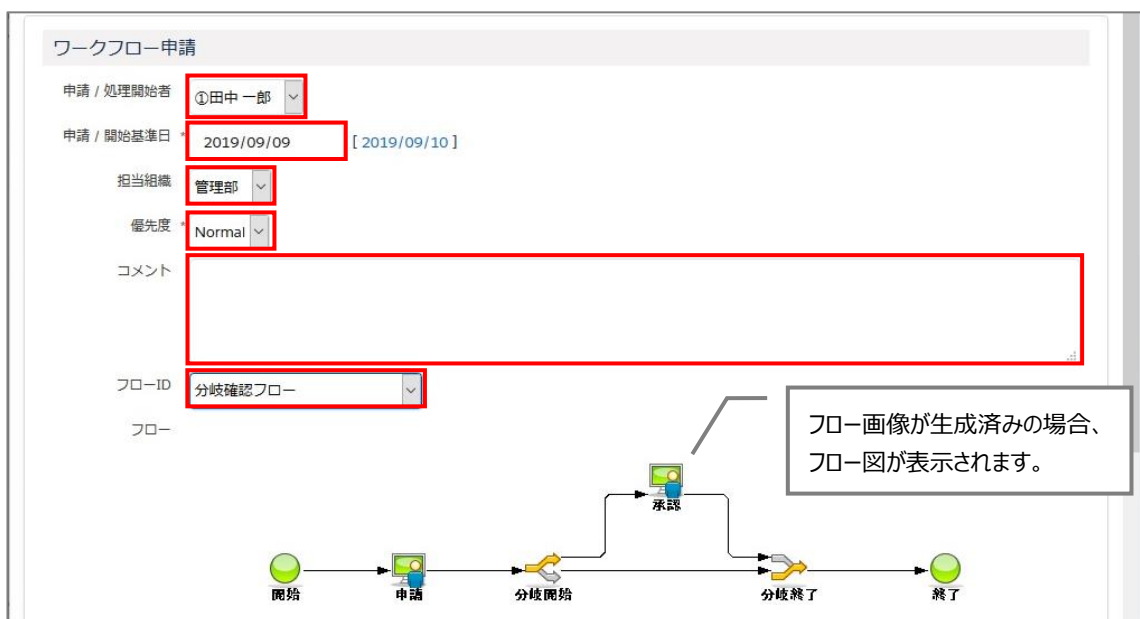
5. {オブジェクト}のレコード一覧画面が表示されます。
申請を行うレコードの [{レコード名}]（ここでは例として [サンプル商談]）をクリックします。



6. 選択したレコードの詳細画面が表示されます。[Workflow] をクリックします。

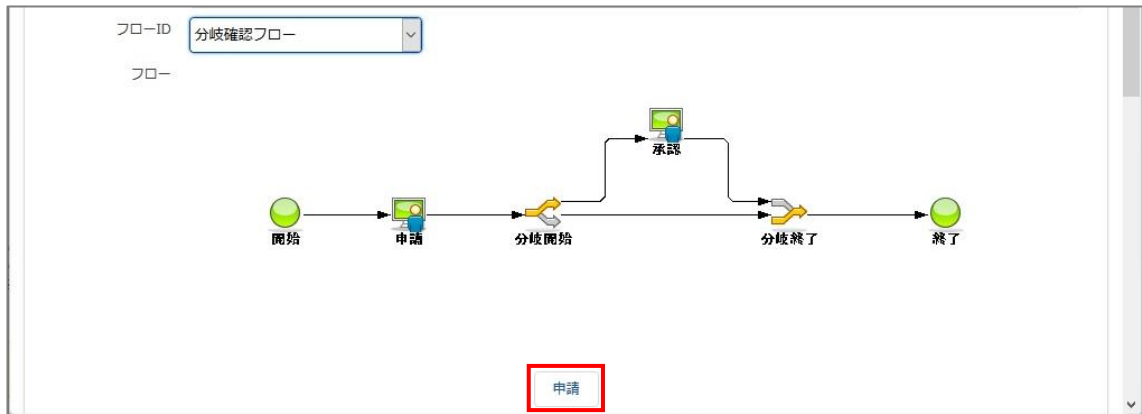


7. 「ワークフロー申請」画面が表示されます。必要項目を入力します。



項目名	入力必須	説明
申請 / 処理開始者	-	ワークフロー申請者（処理開始者）を選択します。 本人申請の場合、ログインユーザが表示されます。 代理申請の場合、申請権限を委譲した側のユーザが表示されます。
申請 / 開始基準日	○	ワークフロー処理を開始する日付を入力します。 初期値は当日です。
担当組織	-	「申請 / 処理開始者」が複数の組織に所属している場合、担当組織を選択します。
優先度	○	次の優先度から選択します。 「Low」「Normal」「High」 初期値は「Normal」です。
コメント	-	必要に応じて、承認者向けコメントを入力します。
フローID	-	使用するフローを選択します。 フローオブジェクトマッピングで作成したフローがプルダウンリストに表示されます。

8. [申請] ボタンをクリックします。



9. 申請が完了すると、画面が再読み込まれ「申請処理が完了しました。」と表示されます。

The screenshot shows the 'ワークフロー' (Workflow) completion screen. At the top, there is a message: '申請処理が完了しました。' (Application processing is complete.). Below this, the 'ワークフロー情報' (Workflow Information) section displays the following details:

- ステータス: Being Processed
- 処理者: OPRO AppsWF デモ組織
- 関係者: ①田中 一郎, ②吉田 次郎, ③会田 隆, ④山田 利明, ⑤徳井 明, ⑥出口 太郎, ⑦今田 義彦
- 案件ID: ma_8fbml4y7mnd57e2
- 関係者: ①田中 一郎, OPRO AppsWF デモ組織, ②吉田 次郎, ③会田 隆, ④山田 利明, ⑤徳井 明, ⑥出口 太郎, ⑦今田 義彦

At the bottom, there are two icons for 'フロー / 履歴' (Flow / History) and a '戻る' (Back) button.

Point

ワークフローの処理状況を確認したい場合は、「フロー / 履歴」の [] ボタンをクリックしてください。左のボタンで「フロー参照」画面、右のボタンで「履歴参照」画面を（別ウィンドウで）表示できます。

The screenshot illustrates the 'Point' section. It shows the 'フロー / 履歴' (Flow / History) buttons from the previous screen. Red arrows point from these buttons to two separate windows:

- フロー参照 (Flow Reference):** This window displays the workflow diagram and a table of processing history.

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
2019/09/10 14:15	申請	申請	①田中 一郎		管理部
▽処理中	承認		OPRO AppsWF デモ組織, ②吉田 次郎, ③会田 隆, ④山田 利明, ⑤徳井 明, ⑥出口 太郎, ⑦今田 義彦		
- 履歴参照 (History Reference):** This window displays the workflow diagram and a table of history.

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織	コメント
2019/09/10 14:15	申請	申請	①田中 一郎		管理部	

2.1.1 「フロー参照」画面

「フロー参照」画面では、次のことが確認できます。

フローのルートと処理状況が表示されます。
色が紫のノードは処理済であることを示しています。
色が赤のノードは処理中であることを示しています。

代理者の設定を行っている場合は、「代理先」に対象者が表示されます。
【参照】「3 代理者の設定」

申請をした処理者が表示されます。

承認が可能な対象者が表示されます。

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
2019/09/10 14:15	申請	申請	①田中 一郎		
▽処理中	承認			OPRO AppsWF デモ組織,②吉田次郎,③徳井 明,④山田 利明,⑤会田 隆	

2.1.2 「履歴参照」画面

「履歴参照」画面では、次のことが確認できます。

フローのルートと処理状況が表示されます。
色が紫のノードは処理済であることを示しています。
色が赤のノードは処理中であることを示しています。

処理履歴が「処理日時」の昇順に表示されます。
この例では「課長承認」で承認をされた後、「部長承認」で「申請」まで差戻しをされ、再申請をしています。
再申請は「代理先」の対象者が実施しています。

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織	コメント
2019/09/17 11:48	申請	申請	①田中 一郎		管理部	
2019/09/17 11:51	課長承認	承認	②吉田 次郎		管理部	
2019/09/17 11:58	部長承認	差戻し	③会田 隆		管理部	
2019/09/18 10:41	申請	再申請	①田中 一郎	④山田 利明	管理部	

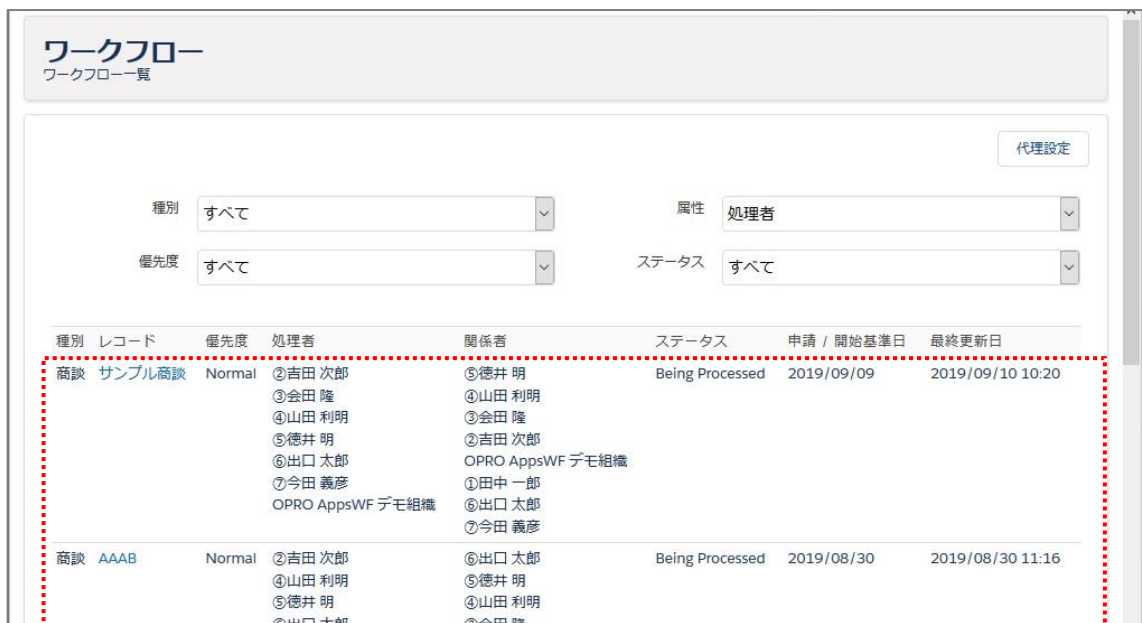
2.2 承認手順

レコードの承認をします。ここでは、本承認が最終承認の場合を例として説明します。

1. ワークフローに割り当てられた処理者（承認対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。承認者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。



Point

次の項目を選択して対象レコードを絞り込むことができます。

種別	すべて	属性	処理者
優先度	すべて	ステータス	すべて

項目名	入力必須	説明
種別	-	「すべて」またはワークフローが設定されているオブジェクトから選択します。 初期値は「すべて」です。
優先度	-	「すべて」または次の優先度から選択します。 「Low」「Normal」「High」 初期値は「すべて」です。
属性	-	「処理者」または「関係者」から選択します。 初期値は「処理者」です。
ステータス	-	「すべて」または次のステータスから選択します。 「Temporarily Saving」（一時保存） 「Being Processed」（処理中） 「Waiting for reapplication」（再申請待ち） 初期値は「すべて」です。

4. 対象レコードの [レコード名] (ここでは例として [サンプル商談]) をクリックします。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦 OPRO AppsWF デモ組織	⑤徳井 明 ④山田 利明 ③会田 隆 ②吉田 次郎 OPRO AppsWF デモ組織 ①田中 一郎 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦	Being Processed	2019/09/09	2019/09/10 10:20

5. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。

The screenshot shows the AppsWF interface for a 'Sample Business Talk' record. The 'Workflow' button is highlighted with a red box. Below the workflow progress bar, there are tabs for 'Activity', 'Details', and 'Chatter'. The 'Activity' tab is currently selected, showing a list of workflow steps: 評価 (Evaluation), ニーズの把握 (Needs Assessment), 提案 (Proposal), 予算/決定... (Budget/Decision...), 価格交渉 (Price Negotiation), 提案書/見... (Proposal/View...), 最終交渉 (Final Negotiation), and クローズ済み (Closed).

6. 「ワークフロー処理」画面が表示されます。[承認] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Workflow Processing' screen. It displays the following information:

- 申請 / 処理開始者: ①田中 一郎
- 申請 / 開始基準日: 2019/09/09
- 処理者: ②吉田 次郎 (selected in a dropdown)
- 担当組織: 管理部 (selected in a dropdown)
- 優先度: Normal
- コメント: (empty text area)

 At the bottom, there are three buttons: '承認' (Approve), '差戻し' (Return), and '否認' (Deny). The '承認' button is highlighted with a red box.

7. 承認が完了すると、画面が再読み込まれ「承認処理が完了しました。」と表示されます。

The screenshot shows the 'Workflow' screen after approval. A red dashed box highlights the message: 承認処理が完了しました。 (Approval processing is complete). Below this, the 'Workflow Information' section shows:

- ステータス: Completed
- 処理者: (empty)
- 案件ID: ma_8fbml4y7mnd57e2
- 関係者: OPRO AppsWF デモ組織, ②吉田 次郎

8. 同じ画面内で、次のことを確認します。

- ・「ワークフロー情報」の「ステータス」が「Completed」（完了）になっている。
- ・「監査証跡ログ」の「タスクステータス」が「mattercomplete」（案件完了）になっている。

The screenshot displays a notification at the top: 「承認処理が完了しました。」 (Approval processing is complete). Below this, the interface is divided into two main sections:

ワークフロー情報 (Workflow Information):

- ステータス (Status):** Completed (highlighted with a red dashed box)
- 処理者 (Processor):** (Field is empty)
- 案件ID (Case ID):** ma_8fbml4y7mnd57e2
- 関係者 (Related Parties):** OPRO AppsWF デモ組織
②吉田 次郎
③会田 隆
④山田 利明
⑤徳井 明
⑥出口 太郎
⑦今田 義彦
①田中 一郎

A 「戻る」 (Back) button is located below the workflow information.

監査証跡ログ (Audit Trail Log):

案件番号 (Case Number)	タスクステータス (Task Status)	申請実行者名 (Applicant Name)
a0E2v00001kQKseEAG	mattercomplete (highlighted with a red dashed box)	①田中 一郎

2.3 否認手順

レコードの否認をします。

Point 手順 1~5 は「2.2 承認手順」と同じです。

1. ワークフローに割り当てられた処理者（承認対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。承認者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦 OPRO AppsWF デモ組織	⑤徳井 明 ④山田 利明 ③会田 隆 ②吉田 次郎 OPRO AppsWF デモ組織 ①田中 一郎 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦	Being Processed	2019/09/09	2019/09/10 10:20
商談	AAAB	Normal	②吉田 次郎 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎	⑥出口 太郎 ⑤徳井 明 ④山田 利明 ②会田 隆	Being Processed	2019/08/30	2019/08/30 11:16

4. 対象レコードの [{レコード名}]（ここでは例として [サンプル商談]）をクリックします。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦 OPRO AppsWF デモ組織	⑤徳井 明 ④山田 利明 ③会田 隆 ②吉田 次郎 OPRO AppsWF デモ組織 ①田中 一郎 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦	Being Processed	2019/09/09	2019/09/10 10:20

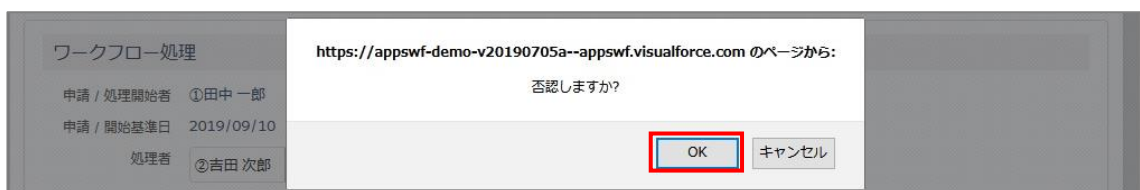
5. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。



6. 「ワークフロー処理」画面が表示されます。[否認] ボタンをクリックします。



7. 確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



8. 否認が完了すると、画面が再読み込まれ「否認処理が完了しました。」と表示されます。



9. 同じ画面内で、次のことを確認します。
- ・「ワークフロー情報」の「ステータス」が「Deny」（否認）になっている。
 - ・「監査証跡ログ」の「タスクステータス」が「deny」（否認）になっている。

否認処理が完了しました。

ワークフロー情報

ステータス	Deny	案件ID	ma_8fbmtk23hneike2
処理者		関係者	①田中 一郎 OPRO AppsWF デモ組織 ②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦

戻る

監査証跡ログ

案件番号	タスクステータス	申請実行者名
a0E2v00001kQLfqEAG	deny	①田中 一郎

2.4 差戻し手順

レコードの差戻しをします。

Point 手順 1~5 は「2.2 承認手順」と同じです。

1. ワークフローに割り当てられた処理者（承認対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。承認者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦 OPRO AppsWF デモ組織	⑤徳井 明 ④山田 利明 ③会田 隆 ②吉田 次郎 OPRO AppsWF デモ組織 ①田中 一郎 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦	Being Processed	2019/09/09	2019/09/10 10:20
商談	AAAB	Normal	②吉田 次郎 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎	⑥出口 太郎 ⑤徳井 明 ④山田 利明 ②会田 隆	Being Processed	2019/08/30	2019/08/30 11:16

4. 対象レコードの [{レコード名}]（ここでは例として [サンプル商談]）をクリックします。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦 OPRO AppsWF デモ組織	⑤徳井 明 ④山田 利明 ③会田 隆 ②吉田 次郎 OPRO AppsWF デモ組織 ①田中 一郎 ⑥出口 太郎 ⑦今田 義彦	Being Processed	2019/09/09	2019/09/10 10:20

5. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。



6. 「ワークフロー処理」画面が表示されます。[差戻し] ボタンをクリックします。

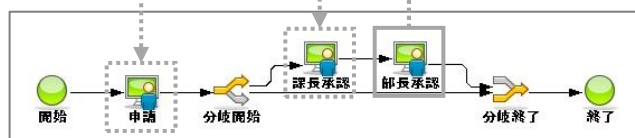


7. 「ワークフロー差戻し」画面が表示されます。
「差戻し」でフローの中の差戻し先を選択して [差戻し] ボタンをクリックします。



Point

ここでは承認者 1 人を例に説明しているため、選択できる差戻し先は「申請」（ノード名）のみです。次のようなフローでは、「部長承認」時の差戻し先として「申請」「課長承認」のいずれかを選択できます。



8. 差戻しが完了すると、画面が再読み込まれ「差戻し処理が完了しました。」と表示されます。



9. 同じ画面内で、次のことを確認します。
- ・「ワークフロー情報」の「ステータス」が「Waiting for reapplication」（再申請待ち）になっている。



2.5 取戻し手順

レコードの取戻しをします。

1. ワークフローに割り当てられた関係者（申請対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。

Point 承認者が 1 人の例であるため、関係者（申請対象者）による取戻しを例に記載しています。承認者が 2 人以上、かつ承認者が取戻しをする場合は、処理者（承認対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインしてください。

2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。

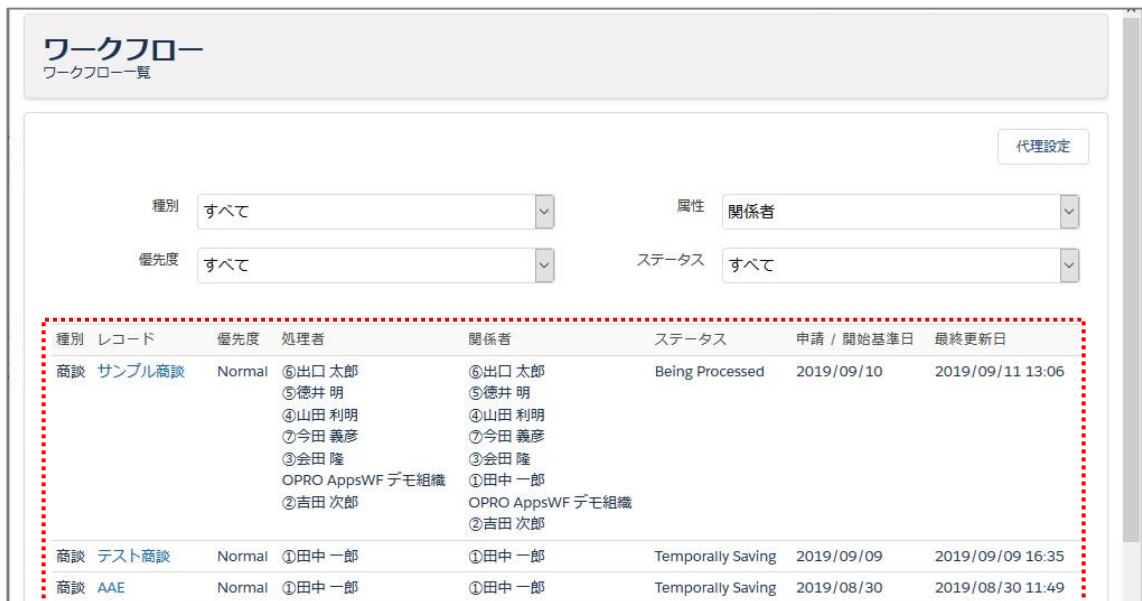


3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。「属性」で「関係者」を選択します。



Point 関係者（申請対象者）による取戻しの例のため、「関係者」を選択しています。処理者（承認対象者）による取戻しの場合、「属性」を変更する必要はありません。この場合、次の手順 4 でも承認者に割り当てられているレコードの一覧を確認することになります。

4. 申請者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。



5. 対象レコードの [{レコード名}] (ここでは例として [サンプル商談]) をクリックします。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	⑥出口 太郎 ⑤徳井 明 ④山田 利明 ⑦今田 義彦 ③会田 隆 OPRO AppsWF デモ組織 ②吉田 次郎	⑥出口 太郎 ⑤徳井 明 ④山田 利明 ⑦今田 義彦 ③会田 隆 ①田中 一郎 OPRO AppsWF デモ組織 ②吉田 次郎	Being Processed	2019/09/10	2019/09/11 13:06

6. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。

The screenshot shows the AppsWF application interface. At the top, there are navigation tabs: 'ホーム', '接続設定', 'ワークフローユーザ設定', 'フローオブジェクトマッピング', and 'サンプル商談'. Below the navigation, there is a header for 'サンプル商談' with a 'Workflow' button highlighted in red. A progress bar below the header shows various stages: '評価', 'ニーズの把握', '提案', '予算/決定...', '価格交渉', '提案書/見...', '最終交渉', and 'クローズ済み'. The '評価' stage is currently active.

7. 「ワークフロー情報」画面が表示されます。[取戻し] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'ワークフロー情報' (Workflow Information) screen. It displays the following details:

- ステータス: Being Processed
- 処理者: OPRO AppsWF デモ組織
- 関係者: ①田中 一郎, OPRO AppsWF デモ組織, ②吉田 次郎, ③会田 隆, ④山田 利明, ⑤徳井 明, ⑥出口 太郎, ⑦今田 義彦
- 案件ID: ma_8fbmz7w17nfo6e2

At the bottom of the screen, there are two buttons: '戻る' and '取戻し', with the '取戻し' button highlighted in red.

8. 取戻しが完了すると、画面が再読み込まれ「取戻し処理が完了しました。」と表示されます。

The screenshot shows the 'ワークフロー' (Workflow) screen after a successful refresh. A red dashed box highlights a message: '取戻し処理が完了しました。' (Refresh processing is complete). Below the message, the 'ワークフロー情報' (Workflow Information) section shows:

- ステータス: Waiting for reapplication
- 処理者: ①田中 一郎
- 関係者: ①田中 一郎, OPRO AppsWF デモ組織, ②吉田 次郎
- 案件ID: ma_8fbmz7w17nfo6e2

9. 同じ画面内で、次のことを確認します。

- 「ワークフロー情報」の「ステータス」が「Waiting for reapplication」（再申請待ち）になっている。



2.6 取止め手順

レコードの取止めをします。

取止めは、承認者に差戻しをされた後、または申請者が取戻しをした後に申請自体をキャンセルする操作です。

1. ワークフローに割り当てられた関係者（申請対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。

Point

承認者が 1 人の例であるため、関係者（申請対象者）による取止めを例に記載しています。
承認者が 2 人以上、かつ承認者が取止めをする場合は、処理者（承認対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインしてください。

2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



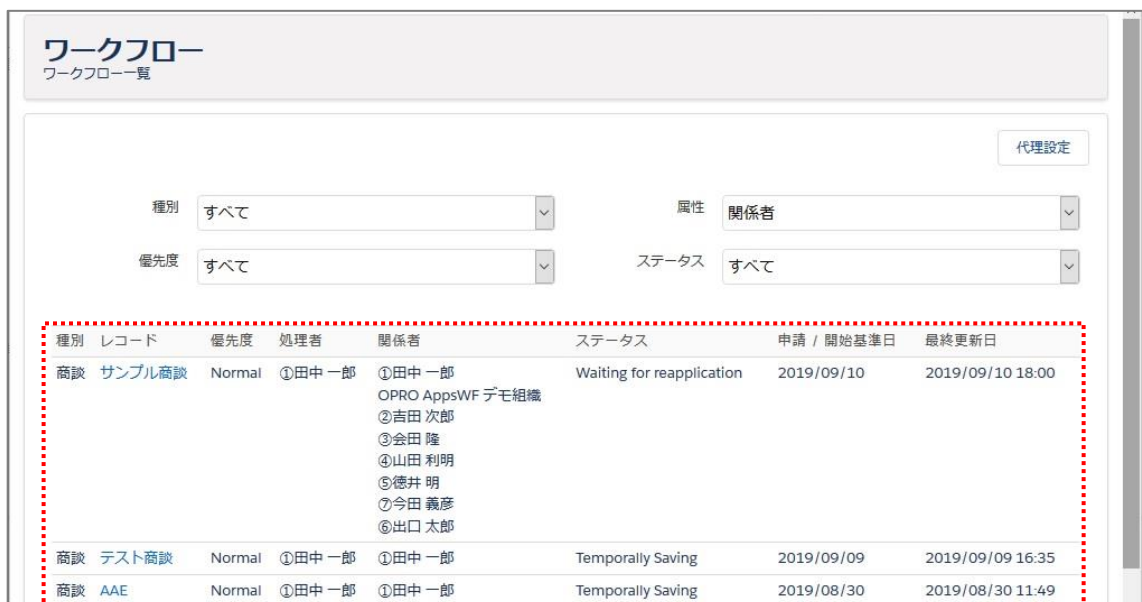
3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。「属性」で「関係者」を選択します。



Point

関係者（申請対象者）による取止めの例のため、「関係者」を選択しています。
処理者（承認対象者）による取止めの場合、「属性」を変更する必要はありません。
この場合、次の手順 4 でも承認者に割り当てられているレコードの一覧を確認することになります。

4. 申請者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。



5. 対象レコードの [{レコード名}] (ここでは例として [サンプル商談]) をクリックします。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談	Normal	①田中 一郎	①田中 一郎 OPRO AppsWF デモ組織 ②吉田 次郎 ③会田 隆 ④山田 利明 ⑤徳井 明 ⑦今田 義彦 ⑥出口 太郎	Waiting for reapplication	2019/09/10	2019/09/10 18:00

「ステータス」に「Waiting for reapplication」(再申請待ち)が表示されています。

6. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。

AppsWF ホーム 接続設定 ワークフローユーザ設定 フローオブジェクトマッピング サンプル商談

商談 サンプル商談 + フォローする Workflow 新規ケース 新規メモ

取引先名: テスト取引先 完了予定日: 2019/09/30 金額: 商談所有者: ①田中 一郎

評価 ニーズの把握 提案 予算/決定... 価格交渉 提案書/見... 最終交渉 クローズ済み

フェーズを完了としてマーク

活動 詳細 Chatter 取引先責任者のロール (0)

7. 「ワークフロー申請」画面が表示されます。[取止め] ボタンをクリックします。

ワークフロー申請

申請 / 処理開始者: ①田中 一郎

申請 / 開始基準日: 2019/09/10

担当組織: 管理部

優先度: Normal

コメント

フロー / 履歴

再申請 取止め

8. 確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

ワークフロー申請

申請 / 処理開始者: ①田中 一郎

申請 / 開始基準日: 2019/09/10

担当組織: 管理部

https://appswf-demo-v20190705a--appswf.visualforce.com のページから:
取止めますか?

OK キャンセル

9. 取止めが完了すると、画面が再読み込まれ「取止め処理が完了しました。」と表示されます。



10. 同じ画面内で、次のことを確認します。

- ・「ワークフロー情報」の「ステータス」が「Discontinue」（取止め）になっている。
- ・「監査証跡ログ」の「タスクステータス」が「discontinue」（取止め）になっている。



2.7 再申請手順

レコードの再申請をします。

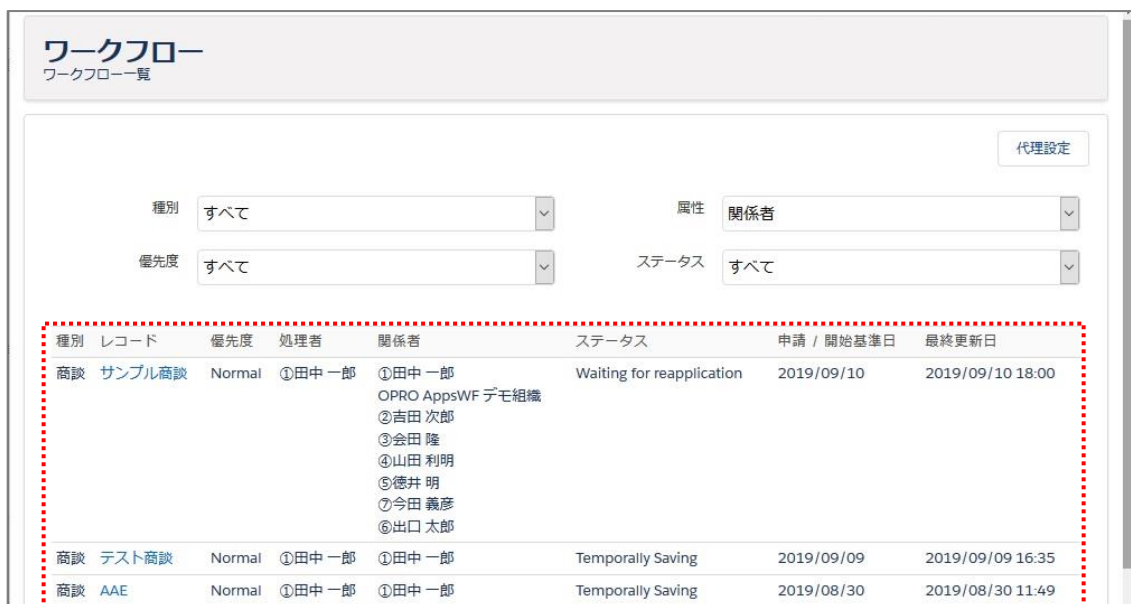
1. ワークフローに割り当てられた関係者（申請対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。「属性」で「関係者」を選択します。



4. 申請者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。



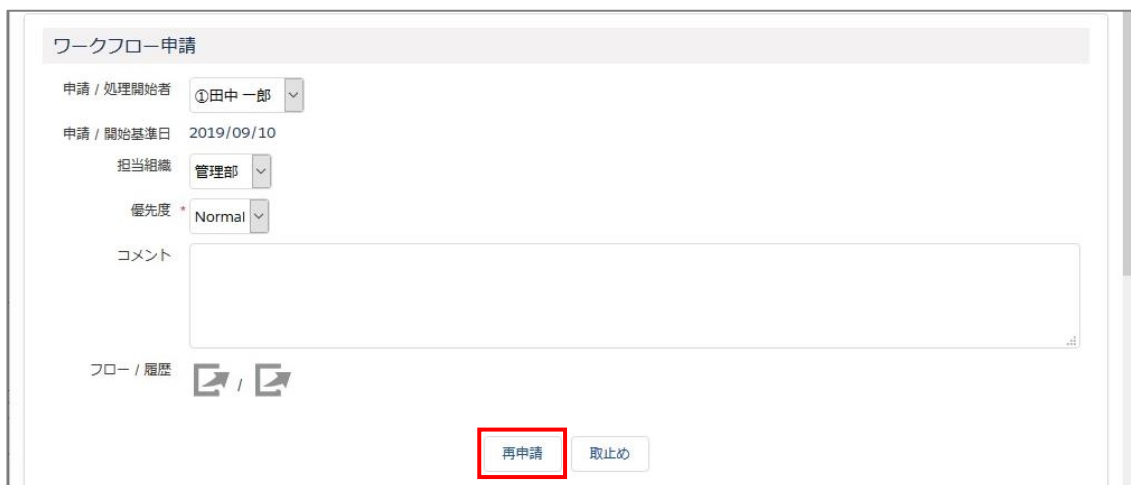
5. 対象レコードの [レコード名] (ここでは例として [サンプル商談]) をクリックします。



6. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。



7. 「ワークフロー申請」画面が表示されます。[再申請] ボタンをクリックします。



8. 再申請が完了すると、画面が再読み込まれ「再申請処理が完了しました。」と表示されます。



2.8 確認手順

レコードの確認をします。

Point フローのルート詳細で確認ノードが設定されている場合にレコードの確認ができます。
【参照】 フローの設定については、「AppsWF ワークフロー設定ガイド」を参照してください。

1. ワークフローに割り当てられた処理者（確認対象者）のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。承認者へ割り当てられているレコードの一覧が確認できます。

ワークフロー
ワークフロー一覧

代理設定

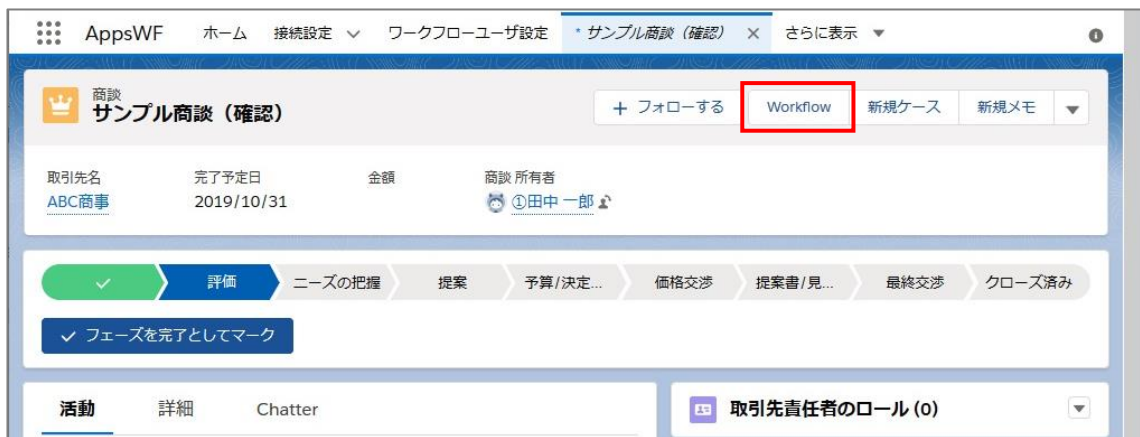
種別: すべて | 属性: 処理者
優先度: すべて | ステータス: すべて

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談 (確認)	Normal	⑤徳井 明	⑤徳井 明	Being Processed	2019/10/03	2019/10/03 14:39
			④山田 利明	④山田 利明			
			③会田 隆	③会田 隆			
			⑥出口 太郎	⑥出口 太郎			
			⑦今田 義彦	⑦今田 義彦			
			②吉田 次郎	①田中 一郎			
			①田中 一郎	②吉田 次郎			
			OPRO AppsWF デモ組織 OPRO AppsWF デモ組織				
商談	ppp1	Normal	⑤徳井 明	⑤徳井 明	Being Processed	2019/10/02	2019/10/02 15:29
			⑥出口 太郎	⑥出口 太郎			
			⑦今田 義彦	⑦今田 義彦			
			OPRO AppsWF デモ組織 OPRO AppsWF デモ組織				


4. 対象レコードの [レコード名]（ここでは例として [サンプル商談 (確認)]）をクリックします。

種別	レコード	優先度	処理者	関係者	ステータス	申請 / 開始基準日	最終更新日
商談	サンプル商談 (確認)	Normal	⑤徳井 明	⑤徳井 明	Being Processed	2019/10/03	2019/10/03 14:39
			④山田 利明	④山田 利明			
			③会田 隆	③会田 隆			
			⑥出口 太郎	⑥出口 太郎			
			⑦今田 義彦	⑦今田 義彦			
			②吉田 次郎	①田中 一郎			
			①田中 一郎	②吉田 次郎			
			OPRO AppsWF デモ組織 OPRO AppsWF デモ組織				

5. 選択したレコードの詳細画面が別タブに表示されます。[Workflow] をクリックします。



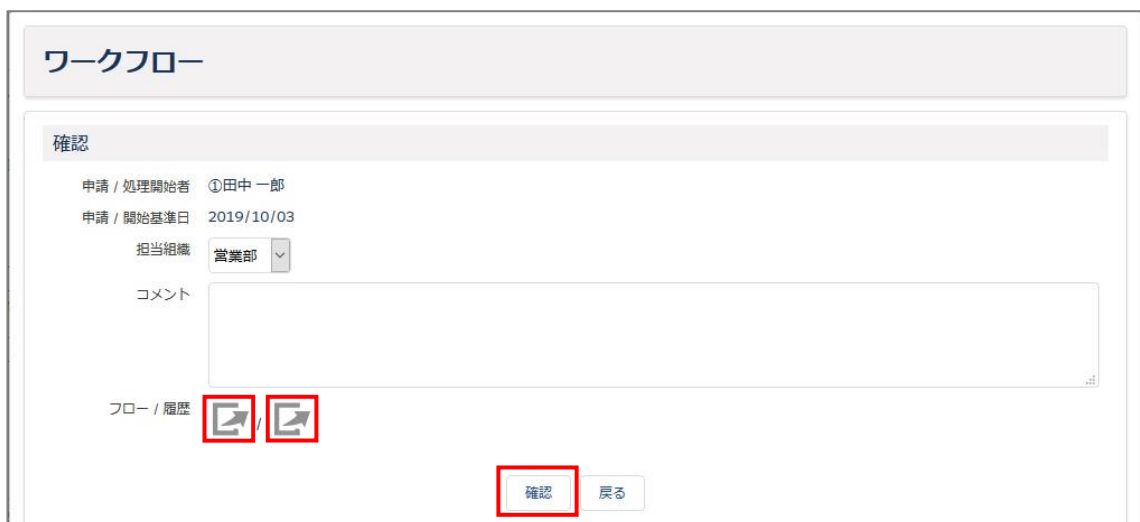
6. 「ワークフロー確認」画面が表示されます。

[>] ボタンをクリックし、「フロー参照」画面および「履歴参照」画面でレコードを確認します。

[参照] 「フロー参照」画面については、「2.1.1 「フロー参照」画面」を参照してください。


「履歴参照」画面については、「2.1.2 「履歴参照」画面」を参照してください。

確認後、[確認] ボタンをクリックします。



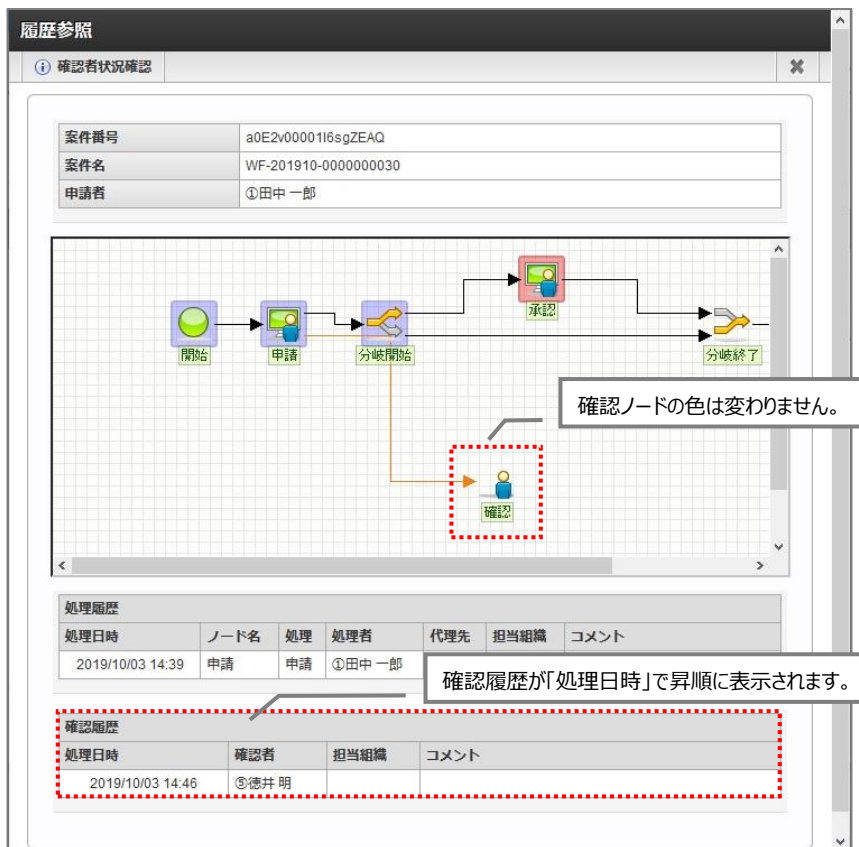
7. 確認が完了すると、画面が再読み込まれ「確認処理が完了しました。」と表示されます。



8. 右の [] ボタンをクリックします。



9. 「履歴参照」画面が表示されます。
「確認履歴」に、手順 6 で実施した確認の履歴が残っています。



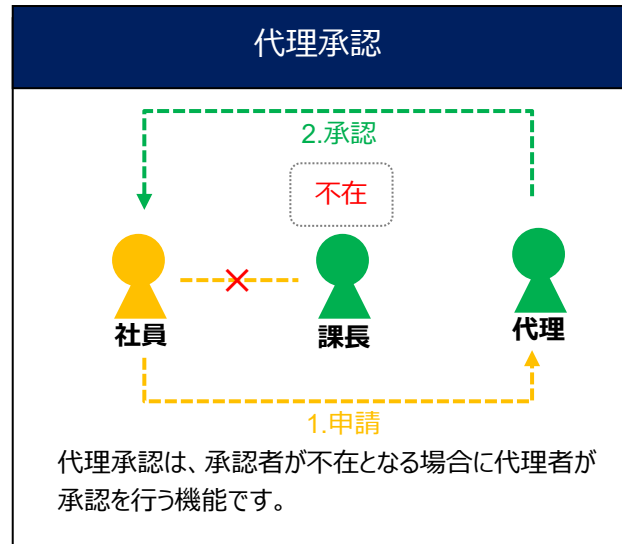
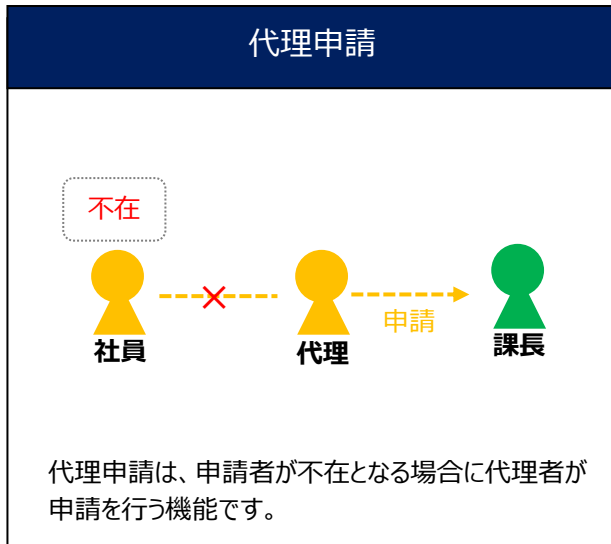
Point

「ワークフロー確認」画面で [確認] ボタンをクリックする都度、履歴が「確認履歴」に追加されていきます。
[確認] ボタンの押し忘れの有無、他の確認者の履歴などを確認できます。
[参照] 「確認履歴」以外の説明については、「2.1.2 「履歴参照」画面」を参照してください。

3. 代理者の設定

代理者（代理申請者・代理承認者）への権限の委譲、代理者による申請と承認について説明します。

3章で説明する代理申請・代理承認のイメージは次のとおりです。



3.1 代理者への権限の委譲

代理者へ申請権限または承認権限を委譲します。

ここでは、申請者が代理者へ申請権限を委譲する場合を例として説明します。

1. 権限を委譲する側のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。[ワークフロー] タブをクリックします。



3. 「ワークフロー一覧」画面が表示されます。[代理設定] ボタンをクリックします。



4. 「代理承認者設定画面」が表示されます。[新規] ボタンをクリックします。



Point

「基準日」を変更して [変更] ボタンをクリックすると、変更後の「基準日」に有効な「対象者」が存在する場合は一覧に表示されます。



5. 「対象者」を入力する画面に切り替わります。必要項目を入力します。

代理承認者設定画面

対象者

代理期間開始日 代理期間終了日

申請権限 承認権限

備考

項目名	入力必須	説明
対象者	-	代理者にする対象ユーザを選択します。 検索キーを入力すると、名称が部分一致するユーザのリストが表示されます。 リストから対象者を選択します。入力必須です。
代理期間開始日	-	「対象者」が代理で処理をできる期間の開始日を入力します。 カレンダーからの選択も可能です。入力必須です。
代理期間終了日	-	「対象者」が代理で処理をできる期間の終了日を入力します。 カレンダーからの選択も可能です。入力必須です。 代理期間開始日～終了日までの間、代理者による処理が可能です。
申請権限	-	申請権限を委譲する場合にチェックを付けます。 「申請権限」「承認権限」のいずれか 1 つはチェックが必須です。 権限が委譲されると、レコードの申請、取戻し、取止め、再申請が可能です。
承認権限	-	承認権限を委譲する場合にチェックを付けます。 「申請権限」「承認権限」のいずれか 1 つはチェックが必須です。 権限が委譲されると、レコードの承認、否認、差戻し、取戻し、取止め、確認が可能です。
備考	-	必要に応じて、権限を委譲する理由などを入力します。

6. [保存] ボタンをクリックします。正常終了すると、「対象者」の情報が一覧に追加されます。

代理承認者設定画面

基準日

対象者	代理期間開始日	代理期間終了日	申請権限	承認権限	備考	
④山田 利明	2019/09/17	2019/09/30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

Point

一覧の [編集] [削除] をクリックすると、「対象者」の情報の編集とレコードの削除ができます。

対象者	代理期間開始日	代理期間終了日	申請権限	承認権限	備考	
④山田 利明	2019/09/17	2019/09/30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

ただし、編集で「対象者」そのものを変更することはできません。

「対象者」を変更したい場合は「対象者」のレコードを削除し、手順 4 以降を再度実施してください。

3.2 代理者による申請と承認

代理者がレコードの申請や承認をします。


1. 代理者として権限が委譲された側のユーザ ID で Salesforce にログインします。

[参照] 以降の手順については、レコードの申請をする場合は「2.1 申請手順」、承認をする場合は「2.2 承認手順」のそれぞれ手順 2 以降を参照してください。「2.3 否認手順」～「2.8 確認手順」についても同様です。

Point

代理者がレコードの申請や再申請などをする場合、「ワークフロー申請」画面の「申請 / 処理開始者」には申請権限を委譲した側のユーザが表示されます。ログインユーザ（代理者）は、表示されません。

同様に代理者がレコードの承認や否認などをする場合、「ワークフロー処理」画面の「処理者」には承認権限を委譲した側のユーザが表示されます。

「処理者」と「代理先」については、 ボタンで表示される「履歴参照」画面で確認できます。

履歴参照

案件番号	a0E2v00001kR3yjEAC
案件名	WF-201909-0000000026
申請者	①田中 一郎

Flow Diagram: 開始 → 申請 → 課長承認 → 部長承認 → 終了

処理履歴	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織	コメント
2019/09/17 11:48	申請	申請	①田中 一郎		管理部	
2019/09/17 11:51	課長承認	承認	②吉田 次郎		管理部	
2019/09/17 11:58	部長承認	差戻し	③会田 隆		管理部	
2019/09/18 10:41	申請	再申請	①田中 一郎	④山田 利明	管理部	

[参照] 「履歴参照」画面については、「2.1.2 「履歴参照」画面」を参照してください。

4. 補足

AppsWF の操作に伴う補足情報について説明します。

4.1 監査証跡ログの表示

終了したワークフローの監査証跡ログを表示します。

Point ワークフローの案件が終了するごとに、それぞれの案件情報が監査証跡ログに保存されています。監査証跡ログを表示することで、申請日、申請者、承認者などの案件情報を確認できます。

1. 当該フローに割り当てられた関係者または処理者のユーザ ID で Salesforce にログインします。
2. AppsWF のホーム画面が表示されます。画面左上の [] をクリックします。



3. アプリケーションランチャーが表示されます。



4. 該当フローを利用した [{オブジェクト}] (ここでは例として [商談]) をクリックします。



5. 「{オブジェクト名}最近参照したデータ」画面が表示されます。
 監査証跡ログを表示するレコードの [{レコード名}] (ここでは例として [サンプル商談 2]) をクリックします。



6. 選択したレコードの詳細画面が表示されます。[Workflow] をクリックします。



7. 「ワークフロー情報」画面が表示されます。「監査証跡ログ」の [{案件番号}] をクリックします。



8. 「案件情報{案件番号}」画面（詳細画面）が表示されます。



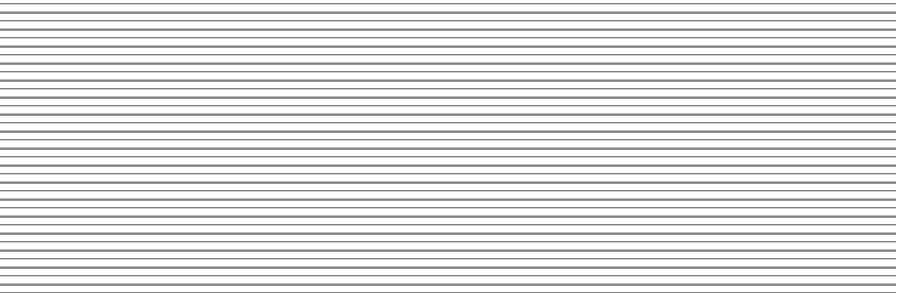
Point

詳細画面には次の項目が表示されます。


案件情報番号	申請代理フラグ	申請権限者コード	申請権限者名
申請基準日	申請日	申請実行者コード	申請実行者名
フローID	フロー名	フローバージョン ID	案件終了日
案件完了状態	案件名	案件番号	優先度
タスクステータス	システム案件 ID	ユーザデータ ID	

9. 「関連」をクリックすると、「案件処理履歴」と「案件プロパティ」が確認できます。





AppsWF ユーザガイド
Salesforce 版



発行元 株式会社オプロ